

MeSo

Medical Care & Social Welfare

京都
医療の
仲間

2024 年 新年号

第 200 号

・発行・

京都医療介護労働組合連合会

京都市中京区四條御前西入

京都労働者総会館 6F

TEL (075) 801-8002

FAX (075) 811-6170

<http://www.labor.or.jp/ioren/>

(E-mail: iouren@labor.or.jp)

members のパスワード「pass1」



お待たせしました！ MeSo200号をお届けします!!
今回は特別版としてオールカラーになっています。
そして京都医労連の70年とMeSo200号までの歴史を
ダイジェストとして掲載しています。
是非とも京都医労連、MeSoの歴史を感じてくださいね。

お知らせ

京都医労連編集委員の香川と今城です。今のMeSoはこの二人で作っています。新編集委員を募集しています。一緒にMeSo201号を作ませんか！ご参加をお待ちしています！

もくじ

●2～3P

仲間の思いをつなぐ！
MeSoのあゆみ

●4～5P

京都医労連70年の闘いの歴史

●6～7P

時には音楽
トークブラザ
コング谷口 車窓の世界

●8P

フォト通信



2019年新年号 189号

近畿一円を190円で電車に乗って巡る企画。ただひたすら電車に14時間乗るのは辛かった！

2017年冬号 185号

京都を飛び出して大阪企画！新世界はとてご陽気でした。



2014年秋号 179号

京都医労連60周年記念。東北支援ツアーを掲載。涙をこらえて記事にしました。

2012年新年号 172号

「和菓子作りの体験」簡単そうに見えて意外と難しいです。



2006年春号 151号

医療問題を漫画にして配信

2003年秋号 141号

職場の安全衛生活動の学習記事を連載していました。



1999年 MeSo 初号 109号

1998年 108号

「医療のなかま」最終号

記念すべき 100号 (1997年)

創刊号 「医療のなかま」

1984年1月
ちょうど40年前！

2020年 新年号 191号

初の海外記事(台湾)
初の海外記事ですが
反響はイマイチ！

2020年秋号 192号

ブラメソ始まる

200号 創刊！



みなさんのお陰を持ちましてMeSo200号を発刊することができました。この200号までの道のりは長く、多くの方々の奮闘で支えられてきました。そこで、今回は200号記念としてMeSoの歴史と取材や編集でのエピソードを、歴代の編集長や編集委員の方々のコメントとともにご紹介します。

仲間の思いをつなぐ！ MeSoのあゆみ

自分の興味から 生まれるアイデア

村上隆彦さん



医療、介護の仲間をつなぐ 機関紙として発展を！

川上裕光さん



MeSo200号に よせて

池田桂子さん
※【脱靴】うしろ姿が私です



すべての 組合に光を

三木昭作さん



今の編集委員より

香川…まずは記念すべきMeSo200号の発刊に携われて光栄です。最初は記事のみを提供していましたが、気が付けば一緒に取材に同行して忙しくも楽しい活動をさせていただきました。当時はデジタルカメラが出たばかりで、とても一眼のデジタルカメラを買ったことが出来ずにフィルムカメラで撮影してプリントした写真をスキャナーでデータ化していました。この取材を通じて多くの方とふれあい、交流できたことは私の財産であり、有難い思い出となりました。

今城…2015年の京都医労連定期大会で執行委員、編集委員に指名され、写真を撮るくらいならいいから軽い気持ちで始めたのが運の尽き！No.182の2016年新年号から関わりだして気が付けば8年の歳月が過ぎ、記念すべきNo.200号の発行へと迎えました。齢50を過ぎたオッサンの珍道中、思い出がいっぱい。これからはもっともっと若い人たちに頑張ってもらいたいな。

いつも仕事を終えて医労連の事務所に集まって、次号の企画を練るんですが、定まらないときは、時々、閉館後に向かいの酒屋でいいアイデアが出てたような記憶があります。編集委員も楽しみたいと続かないし、記事にも共感が生まれません。そんな思いで、委員の興味をメインにした取材が楽しかったですね。パープルサンガの監督やジャーナリストの大谷さん、狂言師の茂山一平さんでしたか？有名な人もいましたね。組合の人脈で、伊丹の管制塔を取材したとき、管制官が平面に出るリーダーを見ながら、立体的に航空機を制御する職人技に驚いたことを覚えています。委員のメンバーで取材を兼ねて、合宿したのもいい思い出です。

MeSo医療のなかまがこの度めでたく200号発行を迎えたことを心よりお祝い申し上げます。編集長をしていた者として本当に嬉しく思います。色んな記事を書き、色んな所に取材に行きました。大阪新世界に行った時は、道行く元気なおっちゃんに「お、記事書いたら送ってくれるんやな」と声をかけられ、住所も教えてもらいましたが、いまだに送れずにいます。ごめんなさい。また、日曜早朝から電車に乗ること約14時間、たったの190円で電車に乗りまくったりもしました。奈良から和歌山まで日本一長いバス路線にも乗りました。その他にも色んなことをしてきました。

MeSoがこれからも文字通り、医療の仲間をつなぐ機関紙として発展されることを願ってやみません。最後に一言、年3回発行と言わず、是非年4回発行しましょう。お手伝いをさせていただきますよ。

「もしもし、編集委員会の香川です」「は、はい、お久しぶりです」「かくかくしかじか」この事で、メッセージを書いている。

さかのぼれば、紙面の刷新に伴いタイトルも変更したが、医労連機関誌は、「医療のなかま」の時代から長い歴史がある。

「MeSo」。あれこれと知恵をしぼり、「医療・福祉」から名付けた。異業種へも取材に出かけたが、私にとって新しい知識を得る機会だった。

200号を祝して、これからも医療、介護の仲間をつなぐアイテムでありますように！！

編集委員会のご尽力に敬意を表します。

私が書記長になった時に「医療のなかま」を創刊しました。

機関紙というのは活動内容を包み隠さず組合員に知ってもらおうという民主主義の重要な武器だと痛感しました。それ以前には「京医労連新聞」が隔月刊であって、それから一時期は手書きの月刊になりました。この「医療のなかま」ですが、すべての加盟組合に光があたり、組合員の顔の見える機関紙作りを大切にしました。



京都医労連

70年の闘いの歴史

ここでは京都医労連70年の歴史を紹介します。
記事でもあるように1953年8月8日に8単組800人で結成して、現在は31単組・5386人の組織になりました。
この間、不当解雇や弾圧・組織破壊、そして分裂策動などに対し、様々な闘いを経験してきました。さらに2020年に始まった人類が初めて直面した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大は我々医療・介護労働者に多大な影響を与えました。しかしこれに屈せず団結して窮地を跳ね返す闘いを展開してきました。ここでは闘いの一部ですが紹介します。



1950年代 京都医療労働組合協議会を結成

1953年8月8日、京都第二日赤病院で京都医療労働組合協議会(京医労)が8単組800人で結成しました。



結成を報じる保険医新聞



京医労ニュース

1960年代 安保闘争から病院ストへ

1960年戦後、最大の国民的闘いとなった安保闘争は、1月16日岸首相が条約改定調印にむけてワシントンへ出発し火を噴きました。安保阻止国民会議は、岸渡米に反対する抗議活動をはじめ、あらゆる形で闘いを展開しました。安保阻止には至りませんでした国会周辺を



河原町通りいっばいに広がった安保反対デモ

1970年代

連日にわたってデモでうめつくした力は岸内閣を総辞職へと追い込みました。



白衣のヒゲ京都第一日赤でスト

11月に京医労は翌年春までに10波にわたる統一ストを組み、第一日赤・第二日赤・鈴木・医大給食・丹中・済生会などを中心にストや時間内職場集会で、医療労働者の統一賃金闘争と国民要求実現のため闘いました。

京大病院和進会の闘い

1979年8月1日、京大病院和進会に労務屋が導入され、激しい組織攻撃をはじめましたが、医労連はこれを包んで反撃し大闘争に発展しました。



1980年代

産別組織としての確立

1987年7月18日、京都医療協、医労連一本化。
1987年7月、日本医療協は、協議体から連合体に移行しました。



京都においても、京都医労連と医療協が組織合流・一本化を達成して文字通り産別組織としての発展を遂げました。

1990年代 1990年 第61回メーデー



1992年5月24日、第5回ラフェスタを140人の参加で開催。



2000年代

2006年 「ひろがれ看護のこころKyoto」を結成

「京都医労連・京大職員組合部病院支部・京都自治労連医療部会・京都民医連・関西看護をよくする会」で“看護が輝く”職場になるよう看護師増員のー

点で共同を進めることを目的に結成。



2012年看護宣伝

2011年3月11日 東日本大震災

2011年3月11日に発生した東日本大震災に京都医労連からも物資などの支援を行いました。



2015年 青いとり保育園を守る報告集会

青いとり保育園の闘いはNHKの報道ドキュメンタリー番組でも放送されました。



2020年 コロナウイルス発生

2020年1月に中国・武漢市から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、日本国内でも感染が拡大し、緊急事態宣言が発令されました。また感染が拡大している地域では病床数や看護師が不足するなど医療体制は逼迫し、疲弊した医療現場などの危機的状況が続きました。



2021年 スタンディング宣伝

先の見えないコロナ禍での東京オリンピック開催よりコロナ対策を訴えました。



2023年 メーデー

4年ぶりのサウンドカーで過酷な医療・介護現場の実態を訴えました。



京都医労連は70周年を迎えました。

70周年を迎えるにあたり発行された記念誌。

団結の要をめざして

鷲見 敏夫さん (1989年～2005年 執行委員長)



MeSo200号おめでとうございます。

私は1989年「連合」結成に対し、階級的労働組合のナショナルセンター「全労連」が結成され、初代議長に日本医労連委員長が選ばれた年に執行委員長になりましたが、この年は全国で「白衣の輪」が取り組まれ「看護婦闘争」が始まった年でもあり、医療労働組合が日本の労働運動で主要な役割を果たせる時期が来たことを感じました。
その後古川、三木、大村、西川さんとともに、全国から「5人組」などと言われながら活動してきたことが懐かしく思い出されます。

医療・介護労働運動の果たす役割は、今後ますます大きくなると思います。MeSoが行く手を指し示し、団結の要となるよう期待します。

車の両輪として展開した運動

森田 しのぶさん (2005年～2013年 執行委員長)



MeSo200号発行そして京都医労連結成70周年誠におめでとうございます。

結成当時から、運動の基本路線として、労働者の生活と権利をまもることと国民の医療を守り改善することを車の両輪として運動してきました。組合員の団結と日本医労連や京都総評に結集する仲間や関係団体のご支援などで、組織を維持・前進させてきたと思います。

歴代政府の医療・社会保障抑制政策によって、医療提供体制の縮小・再編は拍車がかけれ、医師・看護師・介護職員等の処遇改善施策は遅れています。新型コロナウイルス感染症を経験して、改めて医療・介護・社会保障の充実が国民のいのちと生活を守るために重要だと明らかになったと思います。

組合員の皆様のさらなるご活躍と京都医労連の飛躍を願っています。

職場に足をつけ、目は世界を

松本 隆浩さん (2013年～2019年 執行委員長)



医療介護総合確保推進法などによる医療・介護・社会保障のさらなる改悪、国を二分した安保法制の強行採決など、この国の進路が大きく問われる時期でした(今も引き続き、ですが)。医労連は、産別統一闘争を「瞳のごとく大切に」し、春闘・秋闘を軸とした賃金闘争・増員・労働条件改善闘争、看護闘争、社保闘争、東北支援ツアーや戦争法案反対宣伝などの平和と民主主義を守るたたかい。韓国医療保険労組との交流、ノーリフトの佐久病院見学、甲子園ツアーなどにも取り組みました。組織拡大・強化の分野では高雄病院労組結成、青いとり保育園不当解雇撤回でも大いに奮闘してきました。先輩たちから引き継いだ、「職場に足をつけ、目は世界を」と運動・組織をリードする京都医労連の伝統は不滅です。

今回は200号記念のクイズです！みなさんふるってご応募下さいね！

問題

京都医労連は今年で結成㉠0年を迎えました。
MeSoは今回で㉢00号を発行しました。
㉠+㉢の数字をお答えください。

送り先▶〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2 労働会館6F・京都医労連
FAX・Email可▶075-811-6170
irouren@labor.or.jp
締切▶3月31日消印有効（官製ハガキか、FAX・メールで組合名も忘れずに）
発表▶202号
賞品▶正解者のうち抽選で5人の方に1,000円分の図書カードをお送りします。

198号の正解は「キャンベラ」「キャラベン」でした。正解のうち以下の方に図書カードをお送りします。松尾孝子（府職労洛南病院支部）、西村かおり（京都第二日赤）、津崎美樹（洛西ニュータウン労働組合）、戸崎みどり（民医労西支部）、鈴木平和（民医労北部支部）

クイズのこたえ

紙面についてのご感想・ご意見・職場の話題

氏名

組合名

コング谷口
車窓の世界鉄道の東西南北事情！
最端の駅。

次に最西端の駅ですがこれが非常にややこしくて以前は長崎県佐世保駅がJRの最西端の駅で私鉄を含むと佐世保駅から出ている松浦鉄道のたびら平戸駅になります。が！沖縄県にモノレールが出来たためにこれを入れると那覇空港駅が最西端となります。同様に最南端もJRの枕崎線の西大山駅が以前は最南端と紹介されてきましたが現在はモノレールの赤嶺駅が最南端とされて西大山駅はJR最南端駅と紹介されています。因みに掲載した写真は全部コングが現地で撮影してきました！ちょっとした自慢です。



みなさんこんにちは。記念すべきMeSo200号に掲載されるので張り切っています。

今回は日本の鉄道の東西南北を紹介します。

まず最北端の駅は北海道の宗谷本線の稚内駅です。最近は列車の本数も減ってきて少し寂しい駅になってきましたが特急列車の終着駅の風格はまだ残っています。

最東端の駅はこれも北海道の根室本線の東根室駅です。この駅は終点の根室駅の一つ手前の駅で無人駅になっています。

次に最西端の駅ですがこれが非常にややこしくて以前は長崎県佐世保駅がJRの最西端の駅で私鉄を含むと佐世保駅から出ている松浦鉄道のたびら平戸駅になります。が！沖縄県にモノレールが出来たためにこれを入れると那覇空港駅が最西端となります。同様に最南端もJRの枕崎線の西大山駅が以前は最南端と紹介されてきましたが現在はモノレールの赤嶺駅が最南端とされて西大山駅はJR最南端駅と紹介されています。

因みに掲載した写真は全部コングが現地で撮影してきました！ちょっとした自慢です。

時には音楽

No.48

九州博多の
ロック小僧①

●「敬虔なるロック信者」への階段を登り始めたころ

私が「敬虔なるロック信者」への階段を登り始めたころ、私は故郷・九州博多の片隅に暮らす高校生であった。時は1976年から77年にかけてのころであるが、福岡市中央区薬院に九電記念体育館という建物があり、この会場に当時から現在に至るまで名を馳せた有名なロック・バンドが来日公演を行っていた。そして、私もこの時期に3つのロック・バンドの公演に行き、忘れ得ぬ様々な体験することになった。そのバンドは「B.T.O.」（バックマン・ターナー・オールドライブ、カナダのバンド）、「リッチー・ブラックモアズレインボー」、「エアロスミス」である。彼らがどのような演奏をしていたのか、今でもはっきりと覚えている。それと同時に50年近く前のことでもあり、記憶が不鮮明なことも当然ながら沢山ある。しかし、この一文で取り上げるのは、これら3つのバンド演奏の記憶ではなく、主役が登場する前にステージで演奏して

ロックが私に与えてくれたもの

～「前座バンド」、山本恭司、そして、レッド・ツェッペリン～

いた「前座バンド」のことについてである。

●主役の登場までを引き立てた「前座バンド」

今時のライブでは、メインステージが始まるまでの空き時間に「前座バンド」が登場して演奏するようなのはないであろう。しかし、私がロック・バンドの公演に行っていた高校生のころは、前座が当たり前のようにあった。ビートルズが1966年に武道館で来日公演を行った際には、ザ・ドリフターズが前座として演奏しているのは、非常に有名な事実である。そして、私が高校生のころに観に行った、B.T.O.、リッチー・ブラックモアズレインボー、エアロスミスの公演の時にも前座バンドの演奏があった。それぞれの公演にどのバンドが前座として演奏していたかは、記憶が定かではないが、「めんたんびん」、「安全バンド」（断っておくが、「安全地帯」ではない）、「パウワウ」が前座バンドとしてステージに上がっていた。これら3つのバンドについて簡単に紹介しておきたい。

●めんたんびん

めんたんびんは、1969年に石川県小松市で結成されたロック・バンドで、ギター、ベースがあわせて4人、ドラムが2人のツインの6人という構成であった。アメリカのキタリスト、ジェリー・ガルシアが率いたバンド「グレイトフルバンド」を想起させるバンドとして知られていた。1981年に解散し、その後再結成をしている。

●安全バンド

1969年に、東洋大学軽音楽部に在籍していた長沢ヒロが中心になって結成されたバンドである。1977年に解散したが、リーダーの長沢ヒロはバンド解散後、西城秀樹、おにゃん子クラブ、近藤真彦をはじめとした数多くの歌手やCMに楽曲を提供していることで知られている。

●パウワウ

ギタリストの山本恭司が加入していたバンドで、1976年に結成され、その後解散、再結成等を経て30年以上に渡って活動しているロック・バンドである。私が観たパウワウのステージで、上下白のコスチュームに身を包んだ山本恭司が白のフエンダー・ストラトキャスターを自在に操り、圧倒的な技量で演奏していた姿を今でもはっきりと覚えている。

●ロックが与えてくれたもの

蛇足なのだが、この山本恭司は1971年当時、生まれ故郷の島根県

で暮らす高校生であった。彼は抽選で、レッド・ツェッペリン広島公演（1971年9月27日）の券が当たったのだが、広島公演の日が高校の試験日だったため、泣く泣く広島行を断念したのである。山本恭司はその当時を振り返りこのように語っている。「今振り返ると、試験の一回くらいは飛ばしてしまえば良かったと悔やんでいます。」ロックの世界で今も生きている山本恭司の立ち位置を考えると、高校の試験とレッド・ツェッペリンを秤にかければ、その答えはレッド・ツェッペリンに決まっている。ちなみに私は、エアロスミス公演の翌日だったと思うが、高校の実力試験が予定されていた。しかし私は、実力試験とは日頃の学力がどの程度あるのかを試すものであり、試験を前にしてあわてて準備をするものではないと考えていて、何の準備もせず試験の日を迎えた。当日は国語、数学、英語の3教科の試験があり、何故かいまでも数学の試験の点数だけははっきりと覚えている。点数についてはノーコメント！しかしながら、今こうしてロックについて一文を書き記しているのも、ロックが私に与えてくれた「忘れ得ぬ様々な体験」があったからこそである。ロックは私の血となり肉となり、私の身体の中で脈々と生き続けているのである。

川上裕光
（京都医療介護労働組合連合会
個人加盟分会）

- プラMeSoをみると行ってみたいお店もあり長く京都に住んでいても知らないことは山程あると感じます。青年部活動はなつかしい青春の1ページ。第一日赤でも青年部ができたらいのですが…。
加藤早苗
（京都第一日赤病院職員労働組合）
- 文化芸術の在り方についての記事考えさせられました。非日常の空間が存続し

トークプラザ

てこそ心の豊かさにつながると思います。
帆刈 優子（京都中央病院）
●高瀬川をめぐるプラMeSo今度訪ねてみます。
杉林 優子（民医労東支部）
●ここ最近2～3年の離職率がたかく、定年延長に伴い、特に病院や保育現場での職員の高齢化が問題になっています。我々が退職してしまったら一体どうなるのだろうと思ひながら、夜勤頑張ってい

ます。
藤原美香（京丹後市職員組合）
●いつも楽しく読ませていただいています。今回は、青年部に伏見支部の柴さんが登場していて、若い人たちの本音が聞けて、面白かったです。若い人たちが元気な職場は素敵ですね。
帆足 慶子（民医労伏見支部）

京都医労連 第101回定期大会を開催！

京都医労連は9月9日に第101回定期大会を開催しました。最初に勝野委員長から「70周年を迎えた大会、久々のリアル大会です。コロナ禍で奮闘した職場の取り組みを振り返り、諸先輩の努力と奮闘を引き継ぎ、組合を大きくし、平和を守り、大幅増員、労働条件の改善を目指しましょう」とあいさつがありました。続いて坂田書記長から「大幅賃上げ・大幅増員のためのトリプル改定引き上げが必要である。2024春闘を見据え、この秋から産別結集し、ストライキを構え奮闘しよう」と1年間の総括の報告と今後の方針の提案がありました。会場からは19人の代議員が発言し、熱心な議論の下、全会一致ですべての議案が採択されました。

また、介護分野の組織化を念頭に、京都医労連の正式名称を「京都医療介護労働組合連合会」に改名しました。



京都医労連結成70周年 記念レセプション開催！

大会閉会後に会場をザ・サウザンドキョウトに移して70周年レセプションを開催しました。

レセプションには118人の方が参加されて昔話や昔の動画で大いに交流できた会でした。

この先10年後にもレセプションが出来ればとの声を頂きながら閉会となりました。



編集部
だより

200号記念号は如何でしたでしょうか。
今回の記念号作成に際して昔の資料や機関誌新聞、そして記念誌を調べました。

調べていくうちに諸先輩方の奮闘が伝わってきて、これからも労働組合を大切に守っていかねば！と改めて思った次第です。この思いを次世代に引き継いで300号記念号が出来上がるのを楽しみにします。

